

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成27年												平成28年										
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月 ~6日	3月 ~13日	3月 ~20日	3月 ~27日	4月 ~3日	4月 ~10日	4月 ~17日	4月 ~24日	5月 ~1日
カンピロバクター	117	100	86	166	99	138	164	131	131	116	64	68	72	56	9	25	34	43	44	55	37	17	9
病原性大腸菌	227	185	210	229	130	190	195	127	95	134	147	174	140	146	34	38	42	49	43	41	50	32 (33)	9
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	4	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	9	2	5	3	7	9	20	37	14	36	19	11	12	4	2	0	0	0	1	1	2	1 (4)	2
黄色ブドウ球菌 MSSA	44	32	29	27	19	31	37	26	18	26	15	25	23	20	5	4	15	1	2	3	5	4	4
黄色ブドウ球菌 MRSA	20	18	12	15	15	21	15	19	14	17	22	21	11	11	3	7	4	2	7	2	7	5	3
腸炎ピリオ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	3	1	1	0	0	2	7	8	2	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2	0
ロタウイルス	2	0	5	15	3	2	0	0	0	0	1	2	4	19	7	9	8	5	7	8	4	5	3
アデノウイルス	1	0	1	4	0	3	0	0	0	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	38	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	20	20	1	2	2	0	3	3	1	2	0

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

広島県感染症発生動向週報

平成28年第17週(4月25日~5月1日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	7	結核	7		1	1		2	1	2
三類	0	発生なし	0							
四類	1	日本紅斑熱	1						1	
五類全数	2	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1						1	
		クロイツフルト・ヤコブ病	1						1	

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第17週 4/25～5/1)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. 感染性胃腸炎

小児科定点からの感染性胃腸炎の報告数は定点当たり9.57人と、前週とほぼ同程度で推移しています。

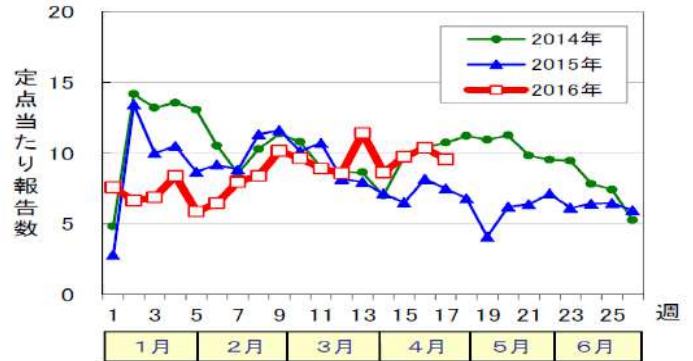
また、基幹定点からのロタウイルスによる感染性胃腸炎は19人の報告がありました。多い状況が続いており注意が必要です。

なお、ロタウイルスを原因とする感染性胃腸炎の集団発生が、第17週に1件報告されています。感染を広げないようにするには、オムツや吐物の適切な処理、手洗いの徹底などが重要です。

2. インフルエンザ

定点当たり0.94人と減少しましたが、まだ散発的に報告されていますので、引き続き手洗い・うがいの励行、咳エチケットなど感染予防対策を心がけましょう。

感染性胃腸炎の流行状況(小児科定点)



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	急増減		
												急増減	増減	微増減
フィルン	インフルエンザ	34	0.94	2.49	↘	小児科	流行性耳下腺炎	13	0.57	0.58		急増減	↑	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
小児科	咽頭結膜熱	5	0.22	0.43		眼科	RSウイルス感染症	8	0.35	0.10		増減	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	56	2.43	1.93	↗		急性出血性結膜炎	1	0.13	0.05		微増減	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	感染性胃腸炎	220	9.57	10.12	↔		流行性角結膜炎	6	0.75	0.98		横ばい	↔	ほとんど増減なし
	水痘	6	0.26	0.95		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	0.03		報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。		
	手足口病	2	0.09	0.56			無菌性髄膜炎	-	-	-		インフルエンザ定点数(小児科定点を含む) 36		
	伝染性紅斑	13	0.57	0.11	↘		マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.29		小児科定点数 23		
	突発性発しん	16	0.70	0.58			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		眼科定点数 8		
	百日咳	-	-	0.08			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	19	2.71		↗	基幹定点数 7		
	ヘルパンギーナ	5	0.22	0.07								(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)		

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	58	男性(30歳代)・1人、男性(80歳代)・1人

■ 新たに判明した病原体検出状況

新たな検査結果はありません。